

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」個別事業の評価一覧

事業の評価										予算			担当課					
■ 施策(8) 放課後児童クラブ										予算								
柱 番号	事業 番号	事業名	事業概要	【Plan】計画			【Do】実施			【Check】評価	【Action】改善	予算			※太字が評 価を記載した 課			
				前年度の評価を踏まえての改善	27年度の 事業計画	27年度の主な実績	活動指標	区分	27年度			28年度	29年度	評価		評価の理由 (分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算 事務事業名
1	175	放課後児童クラブにおける児童受入のための施設整備	児童数の増加により、本市の基準で定める児童の専用区画の確保が難しくなる放課後児童クラブについて、計画的に増設等の施設整備を行う。	・木屋瀬・引野・松ヶ江南の3つの小学校区で施設の増設整備を実施 ・八幡小学校区内のクラブは、仮移転場所で運営しているため、小学校内で施設整備を実施 ・平成29年度に開校予定のひびきの小学校区では、小学校、市民センターと放課後児童クラブの複合施設として建設工事を実施	①木屋瀬・引野・松ヶ江南の増設整備を実施 ②八幡小学校区内クラブの施設整備を実施 ③ひびきの小学校区では、小学校、市民センターと放課後児童クラブの複合施設として建設工事を実施	①木屋瀬・引野・松ヶ江南の3つの小学校区については施設整備を予定どおり行った。 ②八幡小学校区では設計を予定どおり行った。 ③平成29年度開校予定のひびきの小学校区では複合施設として建設工事を予定どおり行った(H28完了予定)。	放課後児童クラブの待機児童数(4/1現在) 【現状値】 0人(H25年度) 【目標】 0人(H31年度)	区分 自年度 前年度 後年度 達成率 計画目標	0人 0人 100% 100%	0人 0人 /	0人 0人 /	順調	・予定していた整備がすべて、計画通り進んだことから、「順調」とした。	・待機児童を出さないため、引き続き施設の増設等に取り組む。	放課後児童クラブ整備費 放課後児童クラブ管理費(債務) 放課後児童クラブ管理費(債務)	決算 93,069 予算 118,243		子家・子育て支援課
1	176	放課後児童クラブの利用内容の充実	利用者ニーズに対応するため、クラブの開所時間や保護者負担金等の標準化を推進する。なお、開所時間については、「小1の壁」解消のため、午後7時までの延長を推進する。また、児童に適切な指導が行えるよう、児童おおむね40人に対して、放課後児童支援員等の2人配置を促進する。	・子ども・子育て支援新制度に伴い、児童の集団規模を70人以下から概ね40人以下とし、指導員の配置基準を児童20人ごとに1人から概ね40人以下に2人配置する。	①クラブの開所時間の延長の推進 ②放課後児童支援員の配置	①午後7時以降まで開所するクラブの割合 12.0% 【現状値】 13.7%(H25年度) 【目標】 50%(H31年度) ②放課後児童支援員資格認定研修受講者数 255人(一部受講の1人含む)	区分 自年度 前年度 後年度 達成率 計画目標	現状値 比増 12.0% 87.6% 24.0%	前年度 比増 /	前年度 比増 /	順調	・午後7時以降まで開所するクラブの割合は、前年度より微減したが、子ども・子育て支援新制度に伴い、児童の集団規模を70人以下から概ね40人以下とし、指導員の配置基準を児童20人ごとに1人から概ね40人以下に2人以上配置することができたため、「順調」とした。	・開所時間延長加算を増額したり、事務説明会で開所時間延長について協力や理解を求めたりすることで、午後7時以降まで開所するクラブの割合の増加に取り組む。 ・また、福岡県が主催で行う放課後児童支援員資格認定研修の受講がスムーズに行われるよう、各クラブへの情報提供や申込の取りまとめを行う。 ・引き続き、指導員の配置基準に問題がないか、クラブからの報告書等で確認を行う。	放課後児童クラブ運営費	決算 1,245,169 予算 1,419,941		子家・子育て支援課	
2	177	放課後児童クラブの運営体制の充実	障害のある児童等への対応が適切に行えるよう、体系的な研修制度の整備や、巡回カウンセラーの派遣などにより、放課後児童支援員等の資質向上を図る。 また、放課後児童クラブアドバイザーの派遣を通じて、障害のある児童への対応等で、クラブと学校等との相互の関係づくりを促進する。 運営委員を対象とした運営事務の専門研修の実施や個別課題への対応を支援する巡回相談を行い、運営体制の充実に努める。	・指導員の資質向上を図るための研修の充実や、臨床心理士、アドバイザーによる訪問指導等に引き続き取り組む。 ・各クラブの運営における工夫した取り組みを他クラブに紹介するなど、指導員相互の情報交換を促進し、運営の質の底上げに努める。 ・放課後児童クラブアドバイザーをクラブだけでなく、学校にも派遣し、クラブ・学校相互の連携づくりに努める。	①指導員研修の実施 ②放課後児童クラブアドバイザーの派遣 ③障害児の受入の推進	①7種の指導員研修を延べ21回実施 ②放課後児童クラブアドバイザーを延べ128クラブに派遣 ③290人の障害児の受入	障害児の受入数 【現状値】 284人(H26年度) 【目標】 障害児の受入の推進	区分 自年度 前年度 後年度 達成率 計画目標	障害児の受入の推進 290人 102.1% 102.1%	障害児の受入の推進 /	障害児の受入の推進 /	順調	・指導員の研修を予定どおり実施した。 ・臨床心理士、アドバイザーによる訪問指導等を実施し、クラブの実情に即した助言等を行った。 ・取り組みの結果、障害のある子どもへの理解が進み、児童の受入が促進されている。	・指導員研修の充実や、臨床心理士、アドバイザーによる訪問指導等に引き続き取り組み、職員の資質向上に取り組む。 ・また、各クラブの運営における工夫した取り組みを他クラブに紹介するなど、指導員相互の情報交換を促進し、運営の質の底上げに努める。 ・放課後児童クラブアドバイザーを、学校に派遣し、クラブ・学校相互の連携づくりに努める。	放課後児童クラブ管理費	決算 16,784 予算 17,255		子家・子育て支援課

事業の評価													予算			担当課		
■ 施策(8) 放課後児童クラブ													予算			※太字が評価を記載した課		
【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価	【Action】改善	予算						
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	27年度の事業計画	27年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由(分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算事務事業名		決算額・次年度予算額【千円】	備考
2	178	放課後児童ヘルパーの活用	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、各クラブが、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として活用するための取り組みを支援していく。	・夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	①放課後児童ヘルパーを活用した夏の教室の実施	①放課後児童ヘルパーを活用して夏の教室を実施したクラブの割合 48.5%	ヘルパー活用クラブの割合 【現状値】 35.5% (H25年度) 【目標】 向上	単年度 現状値 比増	48.5%	前年度 比増	前年度 比増	順調	・地域の人材を放課後児童ヘルパーとして活用することで、昔遊びなどの体験活動に取り組み、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営につながった。	・放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	予算なし	決算 -		子家・子育て支援課
2	179	夏の教室(地域版)の実施	放課後児童ヘルパー等地域力の活用や大学との連携などにより、夏季休業日中に小学校で1週間程度実施されている「夏の教室」の地域版等を放課後児童クラブで実施し、生活体験やスポーツなど体験の機会を増やすとともに、学習習慣を養う。	・夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	①放課後児童ヘルパー等を活用した夏の教室の実施	①夏の教室を実施したクラブの割合 48.5%	実施クラブの割合 【現状値】 35.5% (H25年度) 【目標】 向上	単年度 現状値 比増	48.5%	前年度 比増	前年度 比増	順調	・体験活動の実施にあたり、放課後児童ヘルパー等地域の人材を活用するとともに、各クラブで活動内容を企画・実施できた。	・夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	放課後児童クラブ等活動支援事業	決算 1,827	予算 1,797	子家・子育て支援課
2	180	放課後ジュニアリーダープログラムの展開	高学年児童をジュニアリーダーとし、指導員、放課後児童ヘルパーとともに、低学年児童等のお世話をすることで、高学年児童の思いやりの心や自立を促す。	・夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後ジュニアリーダー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	①放課後ジュニアリーダーを活用した夏の教室の実施	①放課後ジュニアリーダーを活用した夏の教室を実施したクラブの割合 48.5%	実施クラブの割合 【現状値】 35.5% (H25年度) 【目標】 向上	単年度 現状値 比増	48.5%	前年度 比増	前年度 比増	順調	・高学年児童をリーダーに位置づけることで、異学年が一緒になって、昔遊びなどの体験活動に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営につながった。	・夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後ジュニアリーダー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	予算なし	決算 -		子家・子育て支援課